

主任者 コーナー

平成24年度放射線安全取扱部会年次大会 (第53回放射線管理研修会)のお知らせ(3)

平成24年度放射線安全取扱部会年次大会実行委員会

平成24年度放射線安全取扱部会年次大会は、中国・四国支部が担当し準備を進めており、松山市で開催します。

私たちの放射線取扱主任者部会は、4月より放射線安全取扱部会に名称が変更されました。これまでは私たち主任者のための部会でしたが、私たちが公益のために何ができるのかも考える部会となりました。

既に私たち主任者は、それぞれ何らかの方法で東京電力(株)福島第一原子力発電所事故に対応してきました。そんな私たちの思いと呼応することから、坂村真民^{しんみん}の詩の中から「念ずれば花ひらく」をメインテーマとしました。

坂村真民は熊本県で生まれ、愛媛県で高校の国語教員をしながら詩を作り続けてきました。恵まれた子供時代を過ごせませんでした。そんな中で教師になり、前記のような言葉が出ました。

「念ずれば花ひらく」のは、個人の思いなのか、それが集まったものなのかは分かりません。ただ私たちは、この年次大会で部会として力が結集できるよう、準備を進めています。

なおこの文言の使用は、実行委員のメンバーから坂村真民記念館に申し出て、許可をいただいております。

年次大会概要

- 開催日：平成24年11月8日(木)、9日(金)
- 会場：松山市コミュニティセンター

松山市湊町7-5

(JR松山駅より徒歩10分)

- メインテーマ：念ずれば花ひらく

プログラム概要(予定)

【11月8日(木)】(1日目)

- 9:00～ 参加受付
- 10:00～11:00 開会・部会総会
- 11:00～12:00 特別講演Ⅰ「放射線安全行政関連」
(文部科学省科学技術・学術政策局原子力安全課放射線規制室)
- 12:00～13:30 休憩
ポスター発表・相談コーナー
- 13:30～16:30 シンポジウムⅠ・シンポジウムⅡ
- 16:30～17:30 特別講演Ⅱ
- 18:00～20:00 交流会

【11月9日(金)】(2日目)

- 9:00～ 参加受付
- 9:30～14:30 シンポジウムⅢ・シンポジウムⅣ
- 14:30～15:00 次回大会紹介、アピール採択、閉会

シンポジウム、特別講演は、放射線管理に携わっている我々が直面している最新の話題を取り上げる予定です。また、福島第一原子力発電所の事故を受けて、忙しい方も多いと思います。このことは前大会での主要なテーマでした。本大会のシンポジウムでもここから離れることはできません。その中で私たちは特に“復

主任者 コーナー

興”をキーワードとして検討したいと考えています。また、事故対応の一環として、一般の方への放射線に関する説明で忙しい方もおられます。前大会でのシンポジウムでは放射線業務従事者に対する教育訓練も取り上げられましたが、本大会では一般の方への教育も重要なテーマと考えております。学習指導要領が改訂され、中学校では約30年ぶりに理科でエネルギー資源の一環として放射線の性質やその利用について学習指導を行うことになりました。放射線について初めて教える先生方も多いと考えられ、先生方への支援も私たちができることです。このように放射線事業所の安全管理にとどまらず、事業所の外での専門家としての対応に関係した内容を盛り込むべく、鋭意検討しております。

その他に、機器展示や書籍コーナーを設ける予定です。

ポスター発表の募集

日頃、放射線管理等の実務を担当されている方の情報交換の場として、今回もポスター発表を募集します。放射線施設での施設維持管理の新しいアイデア、放射線利用、事業所紹介、福島支援活動や支部活動など多くの方の参加を期待しています。なお、申込みは、表題、発表責任者氏名・連絡先を明記の上、期限までに事務局あてをお願いします。

○申込期限：8月15日(水)

○要旨提出期限：9月3日(月)

○発表要旨の原稿作成要領：

A4判縦で図表を含めて2枚以内で作成ください。書式は1行36文字、1ページ35行、文字の大きさは12ポイント、余白は上下左右ともに30mmとします。要旨原稿は図表も含めてワープロ原稿として、事務局にE-mailで送

信ください。

【連絡先】

○放射線安全取扱部会事務局

日本アイソトープ協会学術・出版課

〒113-8941 東京都文京区本駒込 2-28-45

☎03-5395-8081 FAX03-5395-8053

E-mail gakujutsu@jrias.or.jp

ようこそ松山市へ

松山市へは、札幌、東京、名古屋、大阪、福岡、鹿児島から航空機を利用できます。もちろん、各地からJR、バス、船も利用できます。会場はJR松山駅の近くに位置しており、松山市内にはビジネスホテルが多数あります。

中国・四国支部が年次大会を引き受けるに当たり、福島第一原子力発電所事故の影響とその後の支援に関して、東北支部と中国・四国支部との温度差をどのように埋めるかは大変気になっている点です。全国には復興支援に向けてお忙しい人も多いと思います。体調を崩されている方もおられるかもしれません。松山市で開催するのは、もちろん昼間は会場で情報収集し、議論していただきますが、夜や大会終了後は穏やかな瀬戸内の秋も楽しんでいただき、休養をとっていただきたいという思いがあります。松山市では、瀬戸内の味が楽しめます。松山城、道後温泉、正岡子規、坊ちゃん、坂の上の雲など、歴史と文化にも触れられます。是非、この機会に松山市を楽しんでください。

大会のホームページを作成しました。大会の詳細をはじめ、有用な情報を順次掲載していきますので、随時次のホームページをチェックしてください。

<http://home.hiroshima-u.ac.jp/jria2012/>

多くの方のご参加をお待ちしています。